

Rotary



# WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2018～2019 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「凡事徹底」～友情と情熱と行動と～



インスピレーションになるう

◆会長 高原 清人 ◆幹事 岩本 正樹 ◆会報委員長 道下 利一 ◆会報担当 長瀬 栄二郎

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1185 回	55 名	54 名	43 名	—	79.63%
前々回 1183 回	55 名	54 名	47 名	1 名	88.89%

## 高山3ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問

《日時》平成30年9月21日 12:30～13:30

《会場》高山グリーンホテル 2階「天山の間」

《ホストクラブ》高山西ロータリークラブ

《司会進行》高山西RC幹事 田中 正躬 様

<点鐘> 高山西RC会長 門前 庄次郎 様

<ロータリーソング> 奉仕の理想



<ゲストおよび地区委員の紹介> 高山西RC会長 門前 庄次郎 様

- |                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー             | 木村 静之 様 |
| パストガバナー                          | 桑月 心 様  |
| パストガバナー                          | 劔田 廣喜 様 |
| 濃飛グループガバナー補佐                     | 内田 幸洋 様 |
| 代表幹事                             | 間宮 久人 様 |
| 青少年奉仕部門青少年育成小委員会委員長              | 下田 徳彦 様 |
| インターアクト部門委員会副委員長                 | 塚本 直人 様 |
| 財務・ロータリー財団監査委員                   | 前越 路子 様 |
| 危機管理委員会委員                        | 益田 大輔 様 |
| ロータリーの友委員会委員                     | 清水 幸平 様 |
| 情報部門委員会委員                        | 北川 由幸 様 |
| 会員増強委員会委員                        | 平林 英一 様 |
| ロータリー財団部門補助金小委員会<br>グローバル補助金担当委員 | 大村 貴之 様 |
| 職業研修チーム担当委員                      | 長岡 俊輔 様 |

<会長の時間>

高山西ロータリークラブ

会長 門前 庄次郎 様

本日は木村ガバナー様をはじめ、地区の役員様をお迎えし、高山3ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会を開催する事が出来、大変光栄に存じます。色々ご指導をお願い申し上げます。本年度は高山西ロータリークラブがホストでございますので、



ここで会長の時間とさせていただきます。

少し古い話ですが、昨年度取られたアンケートについて話をさせていただきます。

日本の最初のクラブ「東京ロータリークラブ」が1920年に誕生し、そして来たる2020年オリンピックの年に100周年を迎える事になります。現在100周年に向けて、いろいろ準備を進められているとの事ですが、それに先立ち、昨年度(4月19日～5月31日)インターネットによるWEBアンケートが取られました。2,264のクラブに送られ1393件の回答(61.5%)が有ったと言う事です。

その結果を一部見ますと

1) クラブの現状と課題については(複数回答あり)

会員の高齢化 (52.9%) 会員の減少 (52.8%)  
 会員候補者の不在 (28.5%) 例会出席率の低下 (26.3%)  
 と続きます。

- 2) クラブ運営の課題については  
 例会・委員会活動のマンネリ化 (33.7%)  
 ネット対応の不十分さ (31.6%)  
 会員に対する研修不足 (31.2%)  
 公共のイメージ・認知度の低さ (28.5%) と続きます。

- 3) 国際ロータリーの戦略計画については  
 ①戦略計画を知っていますか  
 十分に理解している (8%)  
 ある程度理解している (69%)  
 よく知らない (23%)  
 ②戦略計画・長期計画委員会はありますか  
 ある (30%) ない (70%)  
 ③戦略計画を明文化していますか  
 ある (13%) 検討中 (28%) ない (59%)  
 となっています。やはり会員増強が急務であり、戦略計画  
 については必要性を感じながらも、一歩踏み出せていない。  
 そんな感じがします。

当クラブももちろんですが、多くのクラブが同じような課  
 題を抱え、同じ様な状況に有る様に感じます。どんな組織  
 も、時間と共に硬直化して行きます。そしてそのマンネリ  
 化を打破するには、創意と工夫が必要です。直面する課題  
 にしっかり向き合い、持続可能で良い変化を生み出すには、  
 そのクラブに有った中長期の計画がやはり必要だと思ひ  
 ます。

当クラブは、今まで先輩たちに作って頂いた積み重ねを大  
 切にしながらも、少しずつ変えて行く勇気を持って、色ん  
 な事にチャレンジして行く事を、今年度の思いとしており  
 ます。また一つでも二つでもその成果を出せる事を願い活  
 動して行きたいと思ひます。

## <歓迎の挨拶>

高山中央ロータリークラブ会長 高原 清人

皆さんこんにちは。

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー 木村 静之様、地区  
 代表幹事 間宮久人様、古き良き伝統文化あふれる当地区  
 最北のまち「飛騨高山」へ、ようこそおいで下さいました。  
 心より歓迎申し上げます。

そして、濃飛グループガバナー補佐 内田幸洋様、地区役  
 員の皆様ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

今年度バリーラシン R I 会長は  
 「インスピレーションになろう」  
 を国際ロータリーのテーマに掲  
 げられ、木村ガバナーは地区活  
 動方針テーマを「理念をかかげ  
 意欲を喚起し 共に行動」とさ  
 れ、具体的に 5 つの地区重点目  
 標を示されました。



ロータリーは時代と共に絶えず進化を遂げ、世界中の地域  
 社会に持続可能な変化を生み出してまいりました。今やロ  
 タリーはこの世界の中で、無くてはならない組織の一つ  
 となっております。このことは 1905 年以來 113 年間の歴  
 史が証明しているところであります。とは言え、これに甘  
 んずることなく、未来を見据え本質を忘れず、自己研鑽を  
 計り、共に議論し、共に行動し続けることが今求められて  
 いると思ひます。

本日、木村ガバナーのご指導を得られますことを大変うれ  
 しく思っております。

木村ガバナーにおかれましては、くれぐれも健康にはご留

意され、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し  
 上げます。

また、本日出席の皆様方の益々のご健勝と、第 2630 地  
 区の発展を祈念いたしまして、意は尽くせませんが歓迎の  
 挨拶とさせていただきます。

## <ガバナー紹介>

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 内田 幸洋 様

木村 静之ガバナーについてご紹介いたします。

所属クラブは岐阜加納ロータ  
 リークラブです。

生年月日は、昭和 27 年 10 月 2 5  
 日、今度の誕生日を迎えられて 6  
 6 歳になられます。

職業は弁護士、東京大学法学部を  
 ご卒業されています。

ロータリー歴は、1994 年 岐阜  
 加納ロータリークラブ入会、2007 年-2008 年岐阜加納ロー  
 タリークラブ幹事、2012-2013 年 岐阜加納ロータリーク  
 ラブ会長、2016-2017 年 岐阜 B グループガバナー補佐、  
 そして今年度 2018-2019 年度ガバナーです。

では、ご講話どうぞよろしくお願ひいたします。



## <ガバナー卓話>

国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 木村 静之 様

皆さんこんにちは。

先ほど点鐘していただきました  
 鐘は、「日本のロータリー 100 周  
 年」記念の黄金の鐘で、ガバ  
 ナー公式訪問に持って回ってい  
 ます。

今年度 R I 会長のテーマは “Be  
 The Inspiration” 「インスピ  
 レーションになろう」です。バ  
 リー・ラシン会長はバハマ  
 のかたです。バハマは、米フ  
 ロリダ半島とキューバの間、  
 カリブ海に浮かぶ島です。「  
 インスピレーションになろう」  
 とは、「インスパイア」という  
 動詞が「鼓舞する」とか「意  
 欲を喚起する」という意味で  
 すので、ほかの人たちに「  
 インスピレーションを与える」  
 、「意欲を吹き込む」人にな  
 るという意味になります。

ラシンさんは、前向きな変化  
 を生み出す意欲を、課題に立  
 ち向かう意欲を、クラブから  
地域社会からも、組織全  
体からも引き出したいと述  
 べておられます。

私のガバナーとしてのテーマ  
 (スローガン) は、「理念をか  
 かげ 意欲を喚起し 共に行  
 動」です。

まず、「理念をかかげ」です。近  
 年、世界のロータリーの趨  
 勢はいささか「奉仕活動の  
 ロータリー」に偏っていて、  
 理念が薄くなっている、と  
 いう意見が出ています。

奉仕活動のロータリー 増強、  
 財団、寄付、プロジェクト  
 推進を重視する面

理念のロータリー 職業奉仕、  
 4 つのテスト、例会を重視  
 する面

私は、奉仕プロジェクトを活  
 発に行うことは非常に大切  
 なことだと思っております。た  
 だ、世界では新興国の会員  
 が増えてきたということもあ  
 って、「奉仕活動のロータ  
 リー」に傾いていると言え  
 ます。そのため R I は「  
 ロータリーの柔軟性」を認  
 めざるを得ない状況で、  
 2016 年の規定審議  
 会において大きな改正がな  
 され、例会は月 2 回でもよ  
 いと



されました。当時の R I 会長が「例会を何回開いたかよりも、地域社会にどのような変化をもたらしているかのほうが重要だ」と述べました。

サンディエゴの国際協議会での私の体験でも、新興国は先進国のロータリーから援助を引き出すことに熱心です。こうした新興国の会員が増加する一方で、先進国の会員が減少し、「理念」がおろそかになっています。

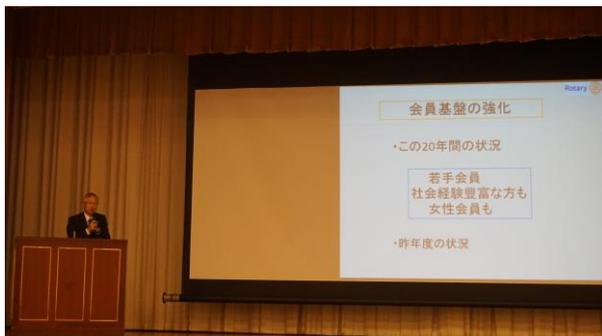
まず、「奉仕の理念」をしっかりと掲げる。「掲げる」とはロータリーのモットー・四つのテスト・ロータリーの目的（綱領）に表される基本理念をいつも意識して、職業生活・社会生活で実践することです。最近も、日本を代表する企業で「偽装事件」などが発生しています。「産地の偽装」とか「等級の偽装」といった事件も発生しています。我々ロータリアンの感覚からすれば由々しき問題だと言わざるをえません。

そして、大切なのが例会です。例会は、職業人としての倫理を向上させ、理念の浸透を図り、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしたい。例会のプログラムを企画する側も工夫をして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。

クラブ内での研修態勢を整えることも大切です。クラブの中で「研修リーダー」を選任して、クラブ内での研修全般に配慮してもらおうのがよいと思います。

次に、会員基盤の強化が必要です。日本のロータリーは 20 年前に 13 万人でしたが、今は 9 万人です。若い世代にも、社会経験豊富な退職者世代にも、女性会員にも入っていただきたい。今や、女性が職業を持つことも社会的な活動をするのも普通ですので、会員構成もそれに応じて多様になってほしい。世界で女性会員の割合は今 20.7% ですが、日本は 6.6% です。これを 5 年以内に 15% 以上にしたいと提唱されています。

昨年度 2630 地区の増強の状況は、全体で純増 45 名ほどです。これは好成績です。皆様のご努力の賜物です。他方、各クラブ平均 1 人増えれば地区全体で 75 人増えるはずですが、そこまでできていません。引き続きよろしくお願ひします。増強のためには、クラブを魅力あるものにする事です。そのためには一人一人の会員を大切に、会員が意欲を持って奉仕活動をする事、そういう立派な会員がいることがクラブの魅力になります。



次に、意欲の喚起についてです。ラシン会長は、意欲を喚起するには「熱意を持って強く伝える」「自らの行動で範を示す」、ということをおっしゃられています。私は、少し視点を変えて「感動体験を話そう」ということをご提案しています。ロータリーでの感動体験をお互いに話すことです。奉仕活動で感動したこと、職業奉仕の面でも感動したこと、そういう感動体験は自分自身の中でさらなる意欲となりますし、そのような話を聞いた人も意欲が湧いてきます。次に、奉仕活動として何をするかは、各クラブの情報収集と創意工夫です。地域社会で改善すべき点、あるいは世界で必要とされている課題は何か、という観点で取り上げていただきたい。どんなプロジェクトをするかは、地区の奉

仕プロジェクト委員会からも情報を得ることができます。

「財団の地区補助金」を活用した奉仕プロジェクト、さらには「グローバル補助金」事業にも挑戦していただきたい。グローバル補助金事業として、当地区の中津川クラブと中津川センタークラブが行った「母子の健康」に関する事業をご紹介します。ブラジルのサンパウロ州で乳児死亡率が高い地域があって、地元のレジストロロータリークラブと中津川のクラブが共同して、現地の医療施設に医療機器を提供するとともに、住民を対象に産前ケアのワークショップの推進をしました。この事業は R I の 2016-17 年度年次報告に取り上げられました。中津川市がレジストロ市と姉妹都市というご縁だったそうです。

もうひとつグローバル補助金事業をご紹介します。今年度、当地区の多治見リバーサイドクラブ、美濃加茂クラブ、鈴鹿ベイクラブが、タイのシロムロータリークラブと共同して行う「基本的教育と識字率の向上」の分野、タイの「教員の研修」プログラムと 80 校に教材を寄贈する事業です。これも注目に値します。グローバル補助金事業は、6 つの重点分野に該当するという要件や、持続可能性という要件、現地の人たちが活動に加わるといったことも必須です。言語など意思疎通が難しいことがあります、地区の委員会（奉仕プロジェクト委員会、国際奉仕委員会、財団委員会）がサポートしてくれます。

持続可能性 (sustainable) について。ロータリーでは、「持続可能な変化をもたらす」事業をと言われます。単に物を寄贈するだけというのではなく、現地の人も加わって、現地の自助努力でやっていけるように援助する、ということが大切です。「魚を与えるより魚の取り方を教える」ということです。

公共イメージと認知度の向上についてお話しします。ロータリーは意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかは知られていません。活動を知ってもらうことによって、世間から注目され、我々の励みになります。増強にもつながり、奉仕の拡充になります。方法としては「視覚的に」伝えるのが効果的です。奉仕活動の機会に、チラシや横断幕などを利用し、クラブがこれまで行ってきた活動を伝えるとともに、「4 つのテスト」などの理念も伝え、ロータリーが国際的なネットワークでポリオ撲滅に力を入れていることなども伝えたいものです。

“PEOPLE OF ACTION”「世界を変える行動人」は、R I のキャンペーンです。たとえば、奉仕活動の写真を掲載する場合に「行動」をイメージできる写真にする、など提唱されています。このロゴはマイロータリーからダウンロードできます。

ロータリー賞、R I 会長特別賞を目指していただきたい。昨年度まで「R I 会長賞」と言っていました。3 つの戦略的優先項目に沿って項目がいくつかありますが、それほどハードルは高くありません。ただ、クラブセントラルから入力するのに多少のコツが必要です。

ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面でも高い評価を受けています。時々、「財団の補助金は要件が厳しくて使いにくい」という声も聞きますが、それは、財団委員会が、ルーズな使い方にならないよう管理しているからです。財団へのご寄付を引き続きよろしくお願ひします。ポリオ撲滅の問題です。30 年前、麻痺を発症する人は、毎年推定 35 万人でした。それが、99.9% 以上減少しています。3 年間続けて 0 になれば撲滅したと言えるのですが、今年になってアフガニスタンとパキスタンで 7 月までに 14 件発症が確認されています。残る 0.1% のポリオとの闘いが問題で、ワクチン投与を続けなければなりません。困難は、遠隔地であったり、紛争地であることです。ポリオ

撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続き寄付のご協力をお願いします。米山奨学会は日本独自の奨学金制度で、当地区では今 16 名のお世話をしています。学業優秀と国際親善に貢献できるかが選考基準です。世話クラブとカウンセラーの会員さんにはよろしく願います。また、寄付も引き続きお願いします。

環境の持続可能性を守ることを、ラシンさんも強調しています。環境汚染で多くの子どもが死亡し、地球規模で何十億人もが深刻な水不足を抱えて暮らしています。地球温暖化は異常気象や海面上昇といった深刻な問題を生じさせます。ロータリーが、先手を打つことのできる組織となれるよう願っています。

日本のロータリー100周年について。日本のロータリーは1920年に東京で創設され、2020年に100周年を迎えます。各地区に、記念の金の鐘（ゴング）が贈呈されました。静岡県にある米山梅吉記念館も創立50年になります。大修繕の必要があることなどで募金を呼びかけています。見学・例会でのご利用もできます。

10月13～14日に岐阜市で開催する地区大会に、多数のご登録ありがとうございます。

以上で私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございます。

## <謝辞>

高山ロータリークラブ 会長 若田 一博 様

高山RC会長の若田一博です。高山3ロータリークラブを代表してお礼を申し上げます。

本日は、木村ガバナーには2630の一番北で行われたガバナー公式訪問例会にようこそおいで下さいました。そして色々ご指導ありがとうございます。心から深くお礼申し上げます。

私共、高山3ロータリークラブは、それぞれが特徴ある活動をして来ております。

・真実かどうか ・みんなに公平か ・行為と友情を深めるか ・みんなのためになるかどうか、この四つのテスト（THE FOUR-YEST）を忘れることなく

・温故知新、それぞれのクラブの歴史、伝統、地域への思いを受け継ぎ、新たな一歩を踏み出して行きたいと思っております。今後ともご指導願います。

本日の「高山3ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会」を主催下さいました、高山西ロータリークラブの皆様、地区委員の皆様、そして出席頂きましたロータリアンの皆様方にお礼申し上げ謝辞と致します。ありがとうございます。



## <ニコニコBOX>

本日は高山3ロータリー合同ガバナー公式訪問例会に伺いました。よろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2630地区 ガバナー 木村 静之 様  
国際ロータリー第2630地区 代表幹事 間宮 久人 様

国際ロータリー第2630地区ガバナー木村様、地区代表幹事間宮様のご来訪を歓迎申し上げます。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

国際ロータリー第2630地区濃飛グループガバナー補佐  
内田 幸洋 様

国際ロータリー第2630地区 ガバナー木村静之様、濃飛グループガバナー補佐 内田幸洋様、地区代表幹事 間宮久人様のご来訪を歓迎いたします。本日はご指導よろしくお願ひいたします。また地区委員会委員長および委員の皆様、本日のご出席ありがとうございます。

高山RC会長 若田 一博 様  
高山西RC会長 門前 庄次郎 様  
高山中央RC会長 高原 清人 様